

2023 年度鑄造入門講座 募集要項

一般社団法人日本鑄造協会では、例年通り今年度も鑄造入門講座を開催致します。演習を含む図面・データの読み方や鑄造分野の新技术の紹介などを加えた共通 23・専門 13 合計 36 コマの座学と、安全体感や工場見学の現地研修を組み合わせ、より具体的に日々の業務に活かせるカリキュラムとなっています。新入社員から鑄造関連業務 3~4 年程度の若手社員を対象とした講座で、コースは鑄鉄専門コースとアルミニウム鑄物専門コースです。

1. 講座の進め方

毎回金・土の 2 日間、1 日に 3 コマをテキストとパワーポイントの資料を使用し、東京の機械振興会館での対面による講義と ZOOM でのオンライン講義とで行います。テキストを基に予習し講義中は質疑応答時間も設けています。講義後の宿題は 1 週間以内に提出し翌月には解説授業を行います。

2. 開講期間

2023年4月14日(金)~2023年9月30日(土) (講義 12 日間、現地研修 1 日、計 13 日間)

徹底した感染症予防対策により開講します。入室前の検温、マスク・手洗いの励行等にご協力下さい。感染拡大の状況によってはやむを得ず、事前周知の上 ZOOM によるオンライン講義に切替える事があり、その場合講義順や日程の中で時間帯の変更もあり得る点ご承知下さい。詳細は P.5 の注意事項でよくご確認下さい。

3. 定員・受講料

50名 (鑄鉄・アルミ鑄物併せて)

最少催行人数：45 名程度

会員価格：176,000円

非会員価格：286,000円

消費税 10%を含む総額表示となります。

4. 申込期間と受講決定及び受講までの流れ

申込受付期間 2023年1月4日(水)~2月3日(金)

別添の申込書 に記入捺印して 6. の事務局金井までメール (kanai@foundry.jp) して下さい。

- ① 申込メール受信後、担当者宛後日メールで受付を通知します。
- ② 新人教育研修プログラム委員会にて選考し、大幅な定員超過の際は受講いただけない又は 1 社 1 名等の制限を設ける場合もあります。受講決定者には「受講決定通知」をお送りします。(3 月上旬)
- ③ オンライン講義に対応いただく為、事前に ZOOM アプリを各々の PC にインストール (マニュアル有) して受講環境を整備し開通確認作業にご協力下さい。詳細は受講決定の際ご案内します。
- ④ 4 月初めに請求書をお送りするので開講日までに受講料を納入 (指定銀行口座あて振込) して下さい。

5. 修了認定

認定要件 ①出席率：2/3以上
②課題評価：60点以上 (未達の場合は再提出して必ず基準点を取る事)
講義後の宿題は欠席の場合もかならず提出して下さい。

6. お問い合わせ

一般社団法人日本鑄造協会 新人教育研修プログラム 鑄造入門講座事務局 金井 香
〒105-0011 東京都港区芝公園三丁目 5 番 8 号 機械振興会館 5 階 501 号室
TEL : 03-3432-2991 FAX : 03-3433-7498 E-mail : kanai@foundry.jp

カリキュラム（鋳鉄コース）

日程：2023年4月14日(金)～2023年9月30日(土)の13日間（予備日:10月14日(土)）

※ 感染症の状況によりオンライン講義への切替等、事前周知の上変更する場合がありますのでご了承下さい。

※ 毎回課題の解説講義や班活動等を第4時限目（16：45～17：30）等に行います。

※ ★がついたコマNo.7～12, 26～30, 34, 35の13コマは鋳鉄コース専門科目で、地色がピンクの12コマはオンライン講義です。

コマNo.	日程	時間	科目・内容	講師（予定）
	4月14日（金）	9:00～10:00	開講式・オリエンテーション	
1		10:00～11:50	鋳造とは	鈴木克美（ものづくり大学名誉教授）
2		12:45～14:35	鋳物とは	佐藤万企夫（元日産自動車）
3	4月15日（土）	14:45～16:35	金属加工法及び鋳物生産状況	森田茂隆（森田技術士事務所）
4		10:00～11:50	鋳造の工程	山田 聡（岩手大学）
5		12:45～14:35	身近な鋳物あれこれ	鈴木克美
6	5月26日（金）	14:45～16:35	生産システム	北澤幸廣（エフテックス）
★7		10:00～11:50	鋳鉄の種類と用途	浅野和典（近畿大学）
★8		12:45～14:35	溶解炉	松元秀人（三共合金鋳造所）
★9	5月27日（土）	14:45～16:35	溶解作業	佐武秀機（クボタ）
★10		10:00～11:50	鋳鉄鋳造の原理原則	鈴木克美
★11		12:45～14:35	溶湯処理	尾鼻美規（ツチヨシ・マテック）
★12	6月22日（木）	14:45～16:35	自硬性鋳型による鋳物の工程	藤本亮輔（芝浦機械）
13		10:00～11:50	5S 活動	中村友和（SPR）
14		12:45～14:35	図面の書き方・読み方	櫻井信吾（田口型範）
15	6月23日（金）	14:45～16:35	安全・衛生・環境管理	釘宮浩己（日立金属）
		7:00～19:00	現地研修（安全体感義塾&工場見学）	
16		10:00～11:50	バーチャル工場見学&DVD	北澤幸廣
17	6月24日（土）	12:45～14:35	中子	永井康弘（群栄化学工業）
18		14:45～16:35	グループ討議	北澤幸廣
19	7月21日（金）	10:00～11:50	湯流れと押湯の原理原則	鈴木克美
20		12:45～14:35	労務管理	阪尾進（阪尾コンサルティング事務所）
21		14:45～16:35	造型法の種類	橋本邦弘（新東工業）
22	7月22日（土）	10:00～11:50	鋳造の最近の進歩	小岩井修二（コイワイ）
23		12:45～14:35	鋳造方案	前田安郭（大同大学）
24		14:45～16:35	原価のしくみ	武山光治（武山鋳造）
25	8月25日（金）	10:00～11:50	品質管理	佐藤万企夫
★26		12:45～14:35	主型	佐藤和則（日本鋳造工学会）
★27		14:45～16:35	鋳型と塗型	北澤幸廣
★28	8月26日（土）	10:00～11:50	検査	桑原 勝（クボタ教育センター）
★29		12:45～14:35	後処理	来栖直樹（伊藤鉄工）
★30		14:45～16:35	鋳鉄の不良事例とその対策	鈴木克美
31	9月29日（金）	10:00～11:50	設備管理	北澤幸廣
32		12:45～14:35	データの採り方・活かし方	鈴木克美
33		14:45～16:35	改善活動	北澤幸廣
★34	9月30日（土）	09:00～10:50	鋳鉄鋳物のQ&A	鈴木克美
★35		11:00～12:50	鋳鉄の新しい技術の動向	鈴木克美
36		13:50～15:20	鋳造特別講演	招待講演者
		15:30～16:30	修了式・オリエンテーション	
	10月14日（土）	予備日		

※ 昼休み・11:50～12:45の予定 ※ 初日・修了日は9:00～と開始時刻が1時間早まります。前月宿題の解説授業等各回の時間割は1週間前に配信するので確認して下さい。

カリキュラム（アルミニウム鋳物コース）

日程：2023年4月14日（金）～2023年9月30日（土）の13日間（予備日；10月14日（土））

※ 感染症の状況によりオンライン講義への切替等、事前周知の上変更する場合がありますのでご了承下さい。

※ 毎回課題の解説講義や班活動等を第4時限目（16：45～17：30）に行います。

※ ★がついたコマNo.7～12, 26～30, 34, 35の13コマはアルミニウム鋳物コース専門科目で、地色がブルーの12コマはオンライン講義です。

コマNo.	日程	時間	科目・内容	講師（予定）
		9：00～10：00	開講式・オリエンテーション	
1	4月14日（金）	10：00～11：50	鋳造とは	鈴木克美（ものづくり大学名誉教授）
2		12：45～14：35	鋳物とは	佐藤万企夫（元日産自動車）
3		14：45～16：35	金属加工法及び鋳物生産状況	森田茂隆（森田技術士事務所）
4	4月15日（土）	10：00～11：50	鋳造の工程	山田 聡（岩手大学）
5		12：45～14：35	身近な鋳物あれこれ	鈴木克美
6		14：45～16：35	生産システム	北澤幸廣（エフテックス）
★7	5月26日（金）	10：00～11：50	アルミ合金鋳物の種類と用途	森田茂隆
★8		12：45～14：35	砂型鋳造法	森田茂隆
★9		14：45～16：35	金型・低圧鋳造法	森田茂隆
★10	5月27日（土）	10：00～11：50	アルミ鋳造の原理原則	堀川 宏（日軽エムシーアルミ）
★11		12：45～14：35	溶解・溶湯処理	堀川 宏
★12		14：45～16：35	後処理・後加工	金内良夫（新東工業）
13	6月22日（木）	10：00～11：50	5S活動	中村友和（SPR）
14		12：45～14：35	図面の書き方・読み方	櫻井信吾（田口型範）
15		14：45～16：35	安全・衛生、環境管理	釘宮浩己（日立金属）
	6月23日（金）	7：00～19：00	現地研修（安全体感義塾&工場見学）	
16	6月24日（土）	10：00～11：50	バーチャル工場見学&DVD	北澤幸廣
17		12：45～14：35	中子	永井康弘（群栄化学工業）
18		14：45～16：35	グループ討議	北澤幸廣
19	7月21日（金）	10：00～11：50	湯流れと押湯の原理原則	鈴木克美
20		12：45～14：35	労務管理	阪尾進（阪尾コンサルティング事務所）
21		14：45～16：35	造型法の種類	橋本邦弘（新東工業）
22	7月22日（土）	10：00～11：50	鋳造の最近の進歩	小岩井修二（コイワイ）
23		12：45～14：35	鋳造方案	前田安郭（大同大学）
24		14：45～16：35	原価のしくみ	武山光治（武山鋳造）
25	8月25日（金）	10：00～11：50	品質管理	佐藤万企夫
★26		12：45～14：35	検査	森田茂隆
★27		14：45～16：35	表面処理	平田政司（平田技術士事務所）
★28	8月26日（土）	10：00～11：50	熱処理	茂泉 健（いすゞ自動車）
★29		12：45～14：35	欠陥の原因と対策	林 憲司（日産自動車）
★30		14：45～16：35	アルミ合金鋳物の製造技術	堀川 宏
31	9月29日（金）	10：00～11：50	設備管理	北澤幸廣
32		12：45～14：35	データの採り方・活かし方	鈴木克美
33		14：45～16：35	改善活動	北澤幸廣
★34	9月30日（土）	09：00～10：50	鋳鉄鋳物のQ&A	鈴木克美
★35		11：00～12：50	鋳鉄の新しい技術の動向	鈴木克美
36		13：50～15：20	鋳造特別講演	招待講演者
		15：30～16：30	修了式・オリエンテーション	
	10月14日（土）	予備日		

※ 昼休み・11：50～12：45の予定 ※ 初日・修了日は9：00～と開始時刻が1時間早まります。前月宿題の解説授業等各回の時間割は1週間前に配信するので確認して下さい。

主たる講義開催場所

●会場： 機械振興会館

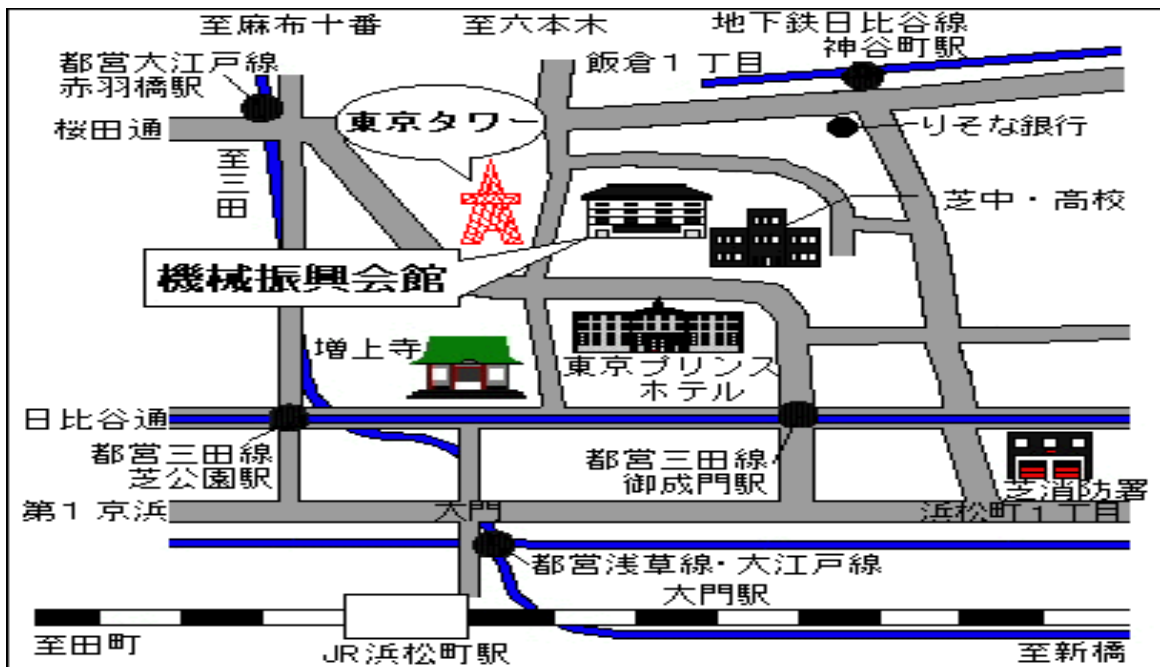
〒105-0011 東京都港区芝公園3-5-8 TEL：03-3432-2991 FAX：03-3433-7498

●交通手段

●JR・山手線・京浜東北線 浜松町 駅 北口より徒歩20分

●地下鉄・日比谷線 神谷町駅2番出口より徒歩8分・都営三田線 御成門駅A1出口より徒歩10分

●都営大江戸線 赤羽橋駅赤羽橋口出口より徒歩10分・都営浅草線 大門駅A6出口より徒歩15分



現地研修（予定）

開催日程： 2023年6月23日（金）

実施内容： ① 安全体感技藝 於；MC興産株

〒321-4367 栃木県真岡市鬼怒ヶ丘8番地 (株)真岡製作所内

粉塵爆発・溶剤爆発危険体感

ロール巻き込まれ強さ体感

階段昇降 危険体感

その他、全部で11項目を10人一班に分かれて全員が実際に体験します。

ヒヤリハット！を実体験、労災の現状や関係法令も学んで危険に対する感受性を取り戻し、「災害ゼロ」の安全な職場づくりの心構えを身につけよう！！

② 工場見学（予定）

日本を代表する鋳物工場で座学での学習内容を実際に見学し目で見て学ぶ



実施会場や実施形態等に関する注意事項

- ① 会場では3密を避けソーシャルディスタンスを保った着席位置、また休憩時間の定期的な換気など徹底した感染症予防対策による運営を実施致します。受講される方は入室前の体温測定とマスク着用、手洗いうがいの徹底にご協力下さい。基準を超えた体温の場合その日の受講をお控えいただくこととなります。
- ② 講座期間中、協会主催の懇親会等は開催しません。受講生の方が交流の場を持つ事を妨げませんが感染症対策を常に心掛けクラスターを発生させないようご注意ください。できるだけ事前ワクチン接種もご検討下さい。
- ③ 開講月の4/14、15と修了月の9/29、30及び現地研修のある6/22~24は全員会場で受講します。鋳鉄・アルミニウム鋳物の各専門科目はZOOMによるオンラインでの受講となります（除く9月）。ただし会場で実施予定の内容も事前周知の上オンライン講義に切替える変更を行う事があり、その場合講義順や日程の中の時間帯の変更もあります。感染症の状況や前月宿題の解説授業等の実施の為毎回の時間割の調整を行い事前にメールでご案内するのでよく確認の上参加して下さい。
- ④ 現地研修等の対面式でないと実施できない科目の日程が感染症の状況で開講が難しいと判断した時は、予備日である10/14（土）を活用して日程を入れ替えることがあります。応募に際してはこの点をよくご検討いただき、不明点や詳細は事務局までお問合せ下さい。
- ⑤ 専門科目はZoomによるオンライン講義なので受講の際には、カメラ付きパソコンやWi-Fi等の受信環境が必要となります。開講日前に希望者にはZOOMでの接続確認を実施します。実際に受講するPCやWi-Fi環境を確認して質疑応答にも受講生の方が積極的に参加いただけるようにすることが目的です。確認作業の実施日程については受講決定時に別途ご案内します。

各種助成金についてのご案内

《 人材開発支援助成金 — 特定訓練・一般訓練コース等 — 》

人材開発支援助成金のうち、鋳造入門講座、鋳造カレッジおよび上級コースを「受講される方が主に利用されるものは、「特定訓練コース」と「一般訓練コース」となります。対象企業、受講される社員の方の条件等により申請できるコース、助成率、助成額が異なります。

尚、この助成金は講座開講日より前に実施計画を提出して受講後に支給申請をなさることで受講料等への助成を受けることができます。2022年10月にも必要書類や要件に関する見直しがされているので詳細は下記よりご確認の上、早めに最寄りの労働局やハローワークにご相談下さい。

厚生労働省ホームページ <http://www.mhlw.go.jp/general/seido/josei/kyufukin/d01-1.html>

※くわしくは、各都道府県労働局や最寄りのハローワーク窓口にてお問い合わせください

都道府県労働局(労働基準監督署、公共職業安定所)所在地一覧 | 厚生労働省 (mhlw.go.jp)

過去の受講生 & 企業担当者の感想

① 受講生の感想

- * 私は現在溶解現場で作業をしているが、配属されてから鋳物の事を全く知らず自分が作っているものは「鋳物」なのだと考えたことがなかった。今回この講座で製造工程に沿ってしっかりと講習を受けたので初めて鋳物の事を少し知ることができたと感じている。球状化处理の大切さ、接種の際の注意点など、今まで何となくやっていた作業の全てに意味があった事を知ることができて、日々の仕事にモチベーションを保てるようになったと思う。今後はますますのスキルアップを目指して頑張っていきたい。
- * 今回、この講座を受講したことで、鋳物への知識を高められたこと、また鋳物に対して、より一層の興味を持たせた事が私のこの講座での収穫と感じております。
- * 半年間の講義はとても勉強になりました。毎日の仕事の中では指示を受けても「そうなのか」と思っても「なぜそうなのか」とは考えていませんでしたが、今は少しずつ「これはあの講義で聞いたことだな」と仕事の中身が理解しやすくなった気がしています。資料もたくさんあるのでわからなくなったときは読み返しながら業務に活かしていきたいと思います。
- * 入社して数年、この講座で改めて基礎から学習することができた。品質保証部という立場から、弊社で発生している品質問題の原因を考える上で必要な知識ばかりで、今回の研修内容を役立てて社内・社外不良、不具合を減らしていくことを目標とし、会社の利益を向上させていくことができるよう自覚を持って精進していきたい。

② 現地研修についての受講生の感想

- * 初めて大規模な鋳造工場を見学して、働きやすい職場環境を追求していくことが必須だということに気づかされました。優れた製品は優れた環境から生み出されるのだなと思います。
- * 工場内がとてもきれいで静かだった。自分の工場以外のところを見る機会はなかったので大変勉強になりました。
- * 安全体感技塾を受講したことで、普段の仕事中にはわかっていながら思わず曖昧になっている安全に対する意識を再確認する事が出来た。「ヒヤリハット」は言葉だけで唱えてもダメで、実際に自分が実行し続けなくてはいけないと改めて考えることができた。

③ 派遣元企業担当者の感想

- * なかなか社内では詳細教育まで至らないため非常に良い企画だと考えています。他社の方々のコミュニケーションが取れ今後も対象者がいる限り参加し会社全体の底上げにご協力いただければありがたく思います。来年以降も、よろしくお願ひします。